

＜調査結果報告＞

2025 年度賃上げ率は 4.22%、過去最高を更新

三重県内の事業所を対象に、賃上げの状況について調査しましたので結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 地域共創事業部 谷ノ上（たにのうえ）
三重県津市岩田 21 番 27 号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

【調査概要】

- 調査期間：2025 年 5 月 20 日～5 月 30 日
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所（以下、企業）、216 件
（※）四捨五入の関係でグラフ内の内訳の集計と合計値が一致しない場合がある。

【調査結果】

賃金改定（賞与等を含む）の実施状況・見込みについて、2025 年度に「賃金を引き上げた（引き上げる）」企業の割合は 84.7%を占め、前年度よりやや低下したものの引き続き高い水準となった。
賃上げ率については、回答平均で 4.22%となり、前年度の 3.60%を上回り、4 年連続で上昇した。
2016 年度の調査開始以来、過去最高を更新する見込みとなった。

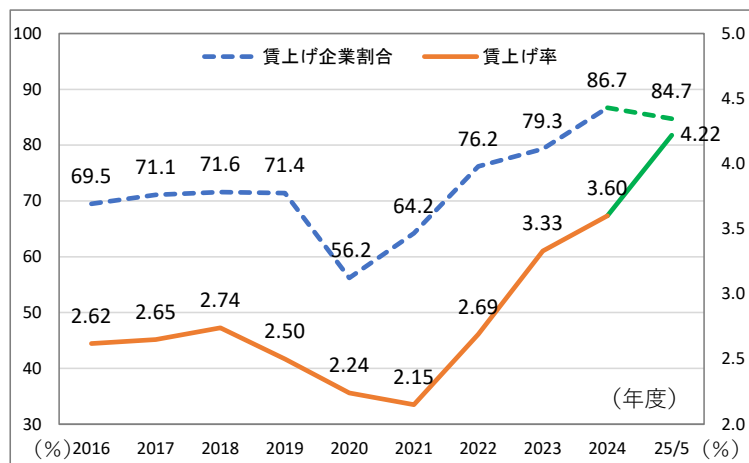
賃上げ率の方向感としては、「24 年度より上げた（上げる）」企業は、大・中堅企業で 25.0%、中小企業では 42.5%となった。

25 年度に賃上げする理由としては、「従業員の離職防止・モチベーションアップ」（75.4%）、「人材の採用」（30.1%）などが高く、人材の定着・確保に賃上げが必要と考える企業が多いことがうかがえる。また、物価が高止まりする中、「物価動向を考慮」（43.7%）は 4 割強を占めた。

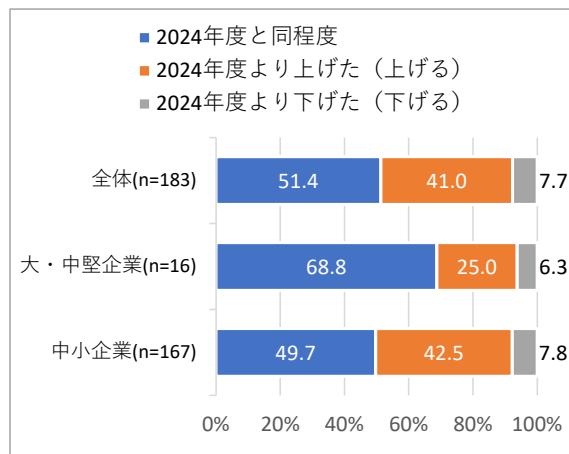
25 年度春入社の新入社員（新規学卒者）の初任給について、「引き上げた」企業の割合は全学歴と一部の学歴を合わせて 50.0%と半数を占め、その引き上げ率は回答平均で 3.82%となった。

今後のさらなる賃上げに向けた課題としては、「人件費分の価格転嫁」や「労働生産性の向上」、「取引価格の適正化」などが必要とする企業が多かった。また、「初任給を上げた場合、既存社員とのバランスが課題」との声も聞かれた。

■賃上げ企業の割合と賃上げ率

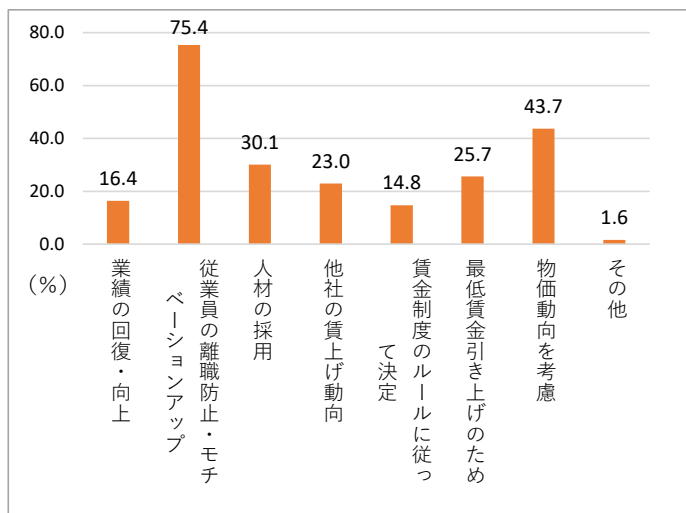


■2025 年度の賃上げ率の方向感

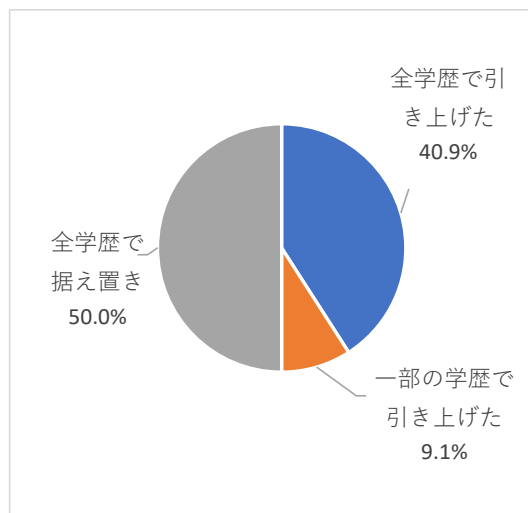


※2024 年度までは当年度の確定値。最新値は 2025 年 5 月時点。

■2025 年度に賃上げする理由（複数回答）



■2025 年春の初任給の引き上げ状況



以上